

解答・解説

凡例および注意点

① = 大問番号 ❶ = 段落番号 ❶ = 文番号

解答部

_____ = 正解部分
() = 省略可能
[] = 直前の語句との入れ換え可能

解説部

☞ = 主語 ☞ = 動詞 ☞ = 目的語 ☞ = 副詞 など
「 」 = 訳（基本は直訳）、あるいは強調
() = 省略可能、あるいは補足・別表現
【語句】 = 該当箇所の重要語句
[|] = 発音。左側が発音記号。右側が目安となるカタカナ表記で、ゴシック体はアクセント
⇒ = 派生語・反意語 など
☞ = 例文。暗唱できるようになることを強くお勧めする
【文法】 = 該当箇所の重要文法事項

日本語訳部

文構造にできるだけ忠実に、自然な日本語を心がけた

重要語句確認部

☞ = 名詞 ☞ = 動詞 ☞ = 形容詞 ☞ = 副詞 など
☞ = チェック欄
[] = 発音記号
「 」 = 意味

解答

1

- 問 1 (C)
 問 2 音声しか聞こえないことは、想像力によって効果が増すという理由で、制約というよりむしろ利点であるということ。
 問 3 それはまるで、自分の容姿をそれ以上よくしようがないかのようだった。
 問 4 壊れたトースターや自動車を、軽くたたいたり指を鳴らすだけで直してしまうこと。
 問 5 (B)
 問 6 (A)、(C)、(E)

解説

問 1 単語の意味と役割を問う選択問題。

該当箇所を含む英文は、**2 ①** Running gags actually started to be used 「ランニングギャグは実際に使われ始めた」 **副** prior to the widespread adoption of television, 「テレビの広範な普及に先立って」 **副** in radio comedies 「ラジオコメディで」 **副** during the “golden age” of radio. 「ラジオの最盛期に」の意味。actually 「実は、実際は」は意外さを表せる副詞（例：日本は小さな国と思われているが、「実は」領海を含めると世界で6番目に大きな国だ）で、ここでは started to be used ～ during the “golden age” of radio の部分を修飾している。**1** ではランニングギャグの説明のためにテレビコメディを例示するが、該当箇所は、ランニングギャグの始まりが「実は」テレビコメディではなくラジオコメディにあると説明し、actually はその意外さを表すために使われている。よって、(C) Readers may be surprised to learn that running gags started in radio comedies. 「読者は、ランニングギャグがラジオコメディで始まったと知って驚くかもしれない。」が正解。他の選択肢はいずれも、一般的なランニングギャグの始まりについての記述ではないので不適。(A) Television was very popular from the 1930s to the 1950s. 「テレビは1930年代から1950年代までとても人気があった。」内容自体も誤り。この期間はラジオの全盛期として述べられている。(B) The “golden age” of radio lasted 20 years rather than continuing to the present. 「ラジオの『全盛期』は、現在まで続くものというより、(過去に)20年続いた。」(D) Both the Fibber McGee and the Happy Days running gags are surprisingly similar. 「フィバー・マギーとハッピーデイズ双方のランニングギャグは驚くほど似ている。」【語句】A rather than B 「BよりむしろA、Bより

凡例： **1** = 段落番号、**3** = 文番号

もA]、surprisingly [səˈpraɪzɪŋli | サプライズィングリ]

副「驚くほど」、similar [sɪmələr | スィミラ] **形**「似ている」

問 2 日本語で説明する記述問題。自分の言葉で説明する記述問題においては、論理的に過不足なく、その記述だけで説明が完結するように心がけて解答する。もっとも大切なのは、自然な日本語で、きちんと読める字で書くこと。字がきれいでも、丁寧に書く。採点者に対する意識や思いやりをおろそかにしてはならない。

該当箇所を含む英文は **2 ⑨** **主** [The fact that people could only hear what was happening] **動** was **補・名** [an advantage rather than a limitation]. という構造。問題文の「何が」は主語にあたり、下線部の an advantage 「優位さ、利点」は主格補語 (S = C) にあたる。よって、この英文を中心に、「(主語) が利点となる理由」を補って、簡潔に説明すればよい。

まず主語。fact 「事実、こと」の直後の that は〈同格〉を表し、続く節で fact の具体的な内容を示す。what は先行詞を要さない関係代名詞で、what was happening は「起こっていたこと」の意味。よって、主語は「起こっていたことを、人々は聞くことしかできなかったということ」の意味。ラジオ番組として当然の特質である。

次に補語。A rather than B 「B というよりむしろ A、B よりも A」から、「制約というよりむしろ利点」の意味。an advantage は、不定冠詞 an が使われていることからここが初出であり、具体的な内容はこの後に示されることがわかる。**2 ⑩** The power of the imagination increased the effectiveness of this particular gag. 「想像力がこの特定のギャグの効果を増やした。」から、要するに具体的な利点は、「想像力によってギャグのおもしろさが増すこと」と言える。

以上をまとめると、「起こっていたことを、人々は聞くこ

としかできなかったということは、想像力によってギャグのおもしろさが増すという理由で、制約というよりむしろ利点だったということ」となる。この解答でも点数はくれるだろうが、advantage には不定冠詞 an がついているので、一般的な記述でまとめた方がいいだろう。「音声しか聞こえないことは、想像力によって効果が増すという理由で、制約というよりむしろ利点であるということ」などをよりよい正解とする。

問 3 日本語訳の記述問題。出題される英文は〈無生物主語〉など英語独特の表現が多く、直訳しても日本語にならない。頭の中で意味をしっかりと咀嚼して、最低限、自然な日本語表現になるよう心がける。これができていないと、採点すらしてもらえない。また、英文と日本語を照合して、要素の抜けがないか吟味することも大切。

英文の該当部分の構造は、It was **補** [**接** as if **主** {no further improvement to his appearance} **動** {could be made}] で、補語は接続詞扱いの as if ～「まるで～であるかのように」が導く節となっている。節中の主語は形容詞 no を用いる英語独特の表現だが、no = not at all として、動詞部分を否定するように意味を取ればよい。further は far の比較級で、ここでは「(程度が)より遠い→さらなる」の意味。節中の動詞は受動態になっているが、make an improvement で「改善する」の意味。以上から全体を直訳すると、「それはまるで、彼の外見に対するさらなる改善は、なされることができないかのようだった」となる。この意味を頭の中で咀嚼し、自然な日本語で解答する。なお、主語の It は文脈的に、「Arthur Fonzerelli が、鏡を通り過ぎるたびに櫛を取り出して髪を整えようとするが、鏡の中の自分を見て完璧と思って素早く櫛をしまう様子」を指す。本来であれば、代名詞なので具体的な内容に変えたいところだが、解答欄に比べて長くなりすぎるし、「It の内容を明らかにして」という条件もないことから、ここでは解答に含めなくてもよいものとする。

問 4 日本語で説明する記述問題。自然な日本語で、丁寧な字で解答する。

下線部(4) its impossibility 「そのあり得なさ」が指す内容は、代名詞の所有格 its から、これよりも前にあるとわかる。さかのぼって探すと、**3 ⑫** he could fix broken toasters or cars just by tapping on them briefly or simply by snapping his fingers. 「彼は壊れたトースターや自動車を、ただ手短かにそれをたたくことによって、あるいは単に指をパチンと鳴らすことによって、修理することができた」の部分が該当すると判断できる。何があり得ないのかを簡潔に説明すればよい。

問 5 内容一致の選択問題。問題文を論理的に過不足なく読み、本文から具体的な内容を述べる部分を探り当て、その内容を念頭に置いた上で、選択肢を吟味して正誤を判断する。

下線部(5) Running gags seem to work for different reasons. 「ランニングギャグは、さまざまな理由で機能するように思える。」の、reasons の具体的な内容と選択肢との一致を探る。reasons の具体的な内容は、この文が段落冒頭にあることと、定冠詞 the がいないことから、この後に述べられるとわかる。**4 ②** ～ **5** First, they are very humorous. 「第一に、それらはとても滑稽である。」

They also work because people like familiar things. People can feel satisfied when something happens predictably, thus meeting their expectations. The running gags presented here occurred repeatedly in a number of episodes of these programs. 「それらはまた、人々が身近な物事が好きだから機能する。人々は、何かが予想通りに起こって、それゆえに自分の期待に応えたときに、満足を感じる。ここで示されたランニングギャグは、これらの番組の多くの話の中で繰り返し起こった。」から、要するに「滑稽だから」ということと、「繰り返しされることで身近になり、予測が可能になるから」ということが、ランニングギャグが機能する理由だとわかる。これを念頭に置いて、一致する選択肢を探す。

(A) They are cool and frightening at the same time. 「それら(ランニングギャグ)は、かっこよくて、同時に恐ろしいものでもある(から)。」記述なし。【語句】frightening [fraɪtɪŋ | フライトニング] **形**「恐ろしい、ぎょっとさせる」、at the same time 「同時に」

(B) They combine our love of funny events with the comfort of predictability. 「それらは、笑える出来事に対する私たちの愛好と、予測可能性の心地よさを結びつける(から)。」要するに、「私たちは笑える出来事が好きで、そのことと、予測できる心地よさが組み合わせるから」ということ。本文該当部と内容が一致するので、これが正解。【語句】combine [kəmbeɪn | コムバイン] **O** with ～「O を～と結びつける」、comfort [kəmfort | カムフト] **名**「心地よさ、快適さ」⇒ comfortable [kəmfortəbl | カムフタブゥ] **形**「心地よい、快適な」、predictability [prɪdɪktəbɪləti | プリディクタビリティ] **名**「予測可能性、予測できること」⇒ predictable [prɪdɪktəbl | プリディクタブゥ] **形**「予測できる」

(C) They are packed with the kind of sounds one hears when many things fall to the floor. 「多くのものが床に落ちるときに、それらは(人が)聞こえてくる音でいっぱいである(から)。」要するに、「床に多くの物が落ちるときに、とても派手な音が聞こえてくるから」ということ。下線部(5)の主語 Running gags には定冠詞 the がなく、一般的なランニングギャグを指しているため、「Fibber McGee and Molly」の具体例の理由だけでは不適。【語句】(be) packed with ～「～でつまった、～でいっぱいの」、one 「(一般的な)人」

(D) They avoid the risk of becoming boring by changing the writers. 「それらは、脚本家を代えることによって、つまらなくなる危険性を避けている。」記述なし。【語句】avoid [əvɔɪd | アヴォイド] **動**「避ける」、risk [rɪsk | リスク] **名**「危険性」

問 6 本文内容との一致・不一致を選ぶ問題。内容が一致すれば **O**、一致しなければ **X** をそれぞれの選択肢の末尾にチェックしていき、最後に問題文の指示にしたがって正解を選ぶのを習慣付けるとよい。不一致を選ぶ問題での混乱を避けられる。

(A) Television comedy writers borrowed the idea of running gags from radio comedies. 「テレビコメディの脚本家は、ランニングギャグのアイデアをラジオコメ